

新型インフルエンザ情報（第7報・5月8日）（新たな情報は【 】で囲んだ部分です）

1. 【7日、ベルギー・インフルエンザ省庁間調整局は、同日新型インフルエンザ（H1N1）に感染した疑いのある事例が新たに1件発生し、検査を行った結果、いずれも陰性であったとのプレスリリースを発出しました。】

（ベルギーインフルエンザHP <http://www.influenza.be/>）

2. 同省は、人口の3分の1に配賦可能なタミフル及びリレンザのストックがあり、その他に250万人分の粉末薬があるので、これを直ちに錠剤にすることが可能であると発表しています。

3. 5月【8日】現在、ヨーロッパでの感染確認国と感染者数は、スペイン【81人】、イギリス【32人】、ドイツ【10人】、オーストリア1人、フランス5人、オランダ【2人】、スイス1人、デンマーク1人、アイルランド1人、イタリア5人、ポルトガル1人、スウェーデン1人に加え、新たに【ポーランド1人で13カ国】で確認されていますが、以上のプレスリリースのとおり現在のところベルギーでは感染の確認はありません。

4. メキシコはもちろん、メキシコ以外で新型インフルエンザの感染が確認された国・地域（【24カ国・地域】）に対しても、外務省は「感染症危険情報」を発出しています。渡航を検討されている方は、渡航先の感染状況及びWHOの情報等最新情報を入手し、十分注意してください。また、これらの国に滞在される方は、WHOの情報にも留意しつつ、感染防止対策を徹底するとともに、感染が疑われた場合には速やかに医療機関で受診してください。

4. 引き続き下記の点に留意し感染防止に努めてください。

（1）十分な水・食料の備蓄を行い、不要不急の外出は控える。

（2）外出する際は人混みを避ける。また、咳やくしゃみ等による感染を防ぐため、マスクを着用する。

（3）積極的に手洗いやうがいを行う。

（4）ウイルスは粘膜を介して感染するので、うかつに目、鼻、口などの粘膜部分に手で触れない。

（5）発熱や咳などインフルエンザと似た症状が見られた場合には、迷わず現地の医療機関（ベルギーの場合はホームドクター）の診療を受ける。

（外務省HP <http://www.mofa.go.jp/mofaj/>）（外務省電話相談窓口：+81-3-5501-8000 内線4625、4627、4629）

（厚 生 労 働 省
HP <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>）

5. 4月30日、WHOは新型インフルエンザ警報フェーズ（6段階）を、フェーズ4（ヒト-ヒト感染が増加している）からフェーズ5（かなりの数のヒト-ヒト感染がある）に引き上げました。5月【6日】現在変更なし。

（WHO（世界保健機構）HP <http://www.who.int/en/>）

